

観光協会設立後の進展は



織田信長生誕の地(勝幡城址)

対する本市の考えは。

経済建設部長

本市の主要産業は農業で、市内農業団体からはTPP交渉参加反対に関する請願書も過去に提出している。本市の農業水産業をしっかりと守っていかなくてはと考えている。

質問

政府のTPP参加の意向に

ては、新たな観光の創設、観光推進する人材の育成、発掘。また市民一人ひとりがおもてなしの心を広げて、だれもがもう一度訪れてみたくなるようなまちづくりを考えているということ。

農業政策とハス田の継承を

質問

市として六次産業化を含む施策の推進は。

経済建設部長

現在農業を担う若手農業者で構成される農業青年団の視察において、農林水産省の六次産業化についての勉強をしている。現在、認定農業者に対して農業の六次産業化が目標となる農業経営体育成支援事業の案内をし、PRなど推進していきたい。

質問

市の農業政策、特にレンコンの生産に対する具体的な考えは。

経済建設部長

レンコン生産に対する具体策としては、作業労力が少ない水掘り方式に適した品種を取り寄せ、今後の後継者育成について、労働しやすい環境を考え、県農業改良普及課と立田すいれん研究会が水掘り方式への作業を実験的に実施している。

質問

今後の観光協会の展望として、何をどのような形で観光資源としていくのか、短期・中期・長期という段階でうかがう。

経済建設部長

短期展望としては、観光ボランティアガイド団体の充実や周辺市町との連携、そしてテーマ別広域観光ルートの整備など。中期展望としては、レンコン掘りやイチゴ狩りなどの体験メニューの整備や、特産グルメの研究開発、ハイキング及びサイクリングロードの整備など。長期展望とし

どこまでできたのか。

経済建設部長

観光協会は、任意団体とし

質問

観光協会設立後、本年はPR事業ということだが、具体的に今後の計画も含めて、



竹村 仁司 議員